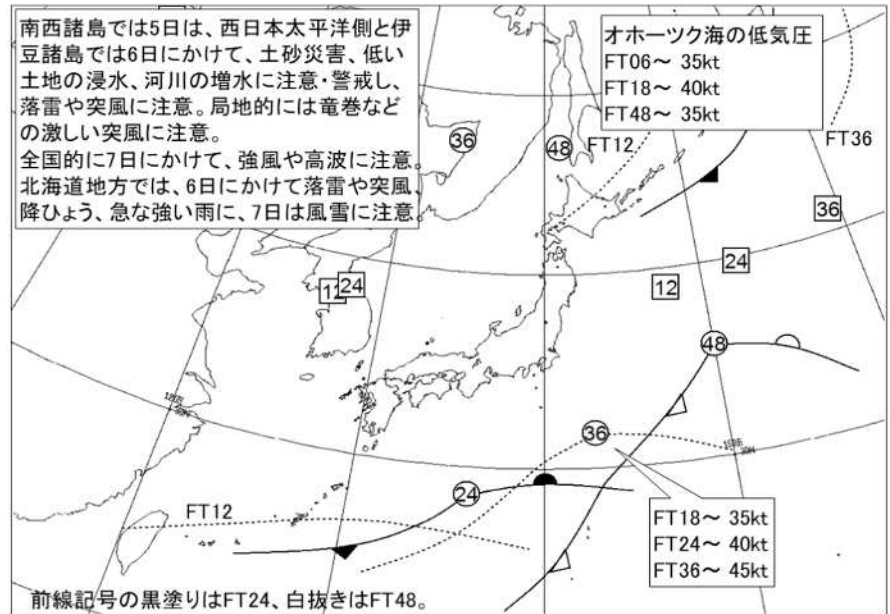


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5760m付近で-15℃以下の寒気を伴うトラフが東シナ海にあって、東進。前線が、台湾海峡付近～南西諸島にのびている。また、東シナ海と四国の南、東海道沖では地上の気圧の谷となっている。前線や気圧の谷の近傍では下層暖湿気の影響で、雷を検知し、激しい雨や非常に激しい雨を解析。
- ② 500hPa 5340m付近のトラフに対応し、低気圧がオホーツク海にあって、東進。前線が日本海北部にのびている。前線近傍では強い雨を解析。



主要じょう乱解説図

- ③ 高気圧が日本の東にあって、東へ移動。高気圧の南縁から①の前線周辺にかけて、及び高気圧と②の低気圧の間では気圧の傾きが大きくなっており、南西諸島と小笠原諸島、北海道地方ではやや強い風が吹き、うねりを伴い波が高くなっている所がある。

3. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①のトラフに対応して、5日夜までに1項①の前線上の日本の南に低気圧が発生し東北東進、6日は日本の東へ進む。また、四国の南では6日にかけて地上の気圧の谷となる。前線や低気圧、気圧の谷に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島では5日は、西日本太平洋側と伊豆諸島では6日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の低気圧からのびる前線は、5日に北海道付近を通過する。また6日は、500hPa 5460m付近の-30℃以下の寒気を伴うトラフが北日本を通過し、トラフに対応する低気圧が6日夜にはサハリン付近へ進む。前線や低気圧へ向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴った強い雨の降る所がある。北海道地方では6日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ③ 7日は、北日本中心の西高東低の気圧配置となる。北海道地方には850hPa-9℃以下の寒気が流入し、平地でも積雪となる所がある。北海道地方では7日は、積雪や路面凍結による交通障害に留意。
- ④ 1項③の高気圧は、6日にかけて日本のはるか東へ移動する。この高気圧と2項①及び②の前線や低気圧との間で、また7日は西高東低の気圧配置の影響で、気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くしけとなる所がある。全国的に7日にかけて、強風や高波に注意。北海道地方では風雪にも注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時からの24時間)：沖縄100mm。

- ② 波浪(明日まで)：伊豆諸島5、九州南部・奄美・沖縄4、その他広い範囲で3m。

- ③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。東～西日本と南西諸島では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。